

考えてみよう！



それぞれのことわざの意味を考えて、オリジナルことわざをつくってみよう！（下の空欄に書いてね！）
右の空欄にはイラストも描いてみよう！

船頭多くして船山に登る



せんどうおおくしてふねやまにのぼる

意 指図する人間が多すぎると逆に統率が取れず、見当違いの方向に物事が進んでしまうたとえ。

ひょうたんから駒



ひょうたんからこま

意 「駒」とは馬のこと。あるはずのない、思いもよらないことが起こること。冗談で言ったことが本当になってしまうこと。

勝って兜の緒を締めよ



かっつかぶとのおをしめよ

意 戦いに勝ったからといって兜を脱いで油断していると、不意に敵に襲われなくても限らないから、戦いに勝っても、兜の緒を締めなおして油断するなということ。ものが上手くいったとしても、決して用心を怠るな、といういましめである。

立つ鳥後を濁さず



たつとりあとをにごさず

意 飛び立つ水鳥が水を濁さずに去っていくことから、後始末はきちんとすべきということのたとえ。

対 後は野となれ山となれ

門前の小僧習わぬ経を読む



もんぜんのごぞうならわぬきょうをよむ

意 毎日のように繰り返し見たり聞いたりしていると、習わなくてもいつの間にか覚えてしまうということ。寺の門の前に住む子供がいつの間にか聞き覚えて、習ったことのない経を読むようになったことから。